



一般社団法人  
パーソナルサポートセンター

対象者の特性を踏まえた支援のあり方  
～就労準備支援事業を活用したひきこもり支援～

---

2019年度 自立相談支援事業従事者養成研修

2019年度

仙台市生活自立・仕事相談センター わんすてっぷ  
センター長 平井知則

# 一般社団法人パーソナルサポートセンター(PSC)について

## パーソナルサポートセンターの目的(定款)

当法人は、ホームレス、障がい者、DV被害者、一人親世帯、ニート、引きこもり、就労困難者など、社会的困窮状態にある方の生活支援をし、就労自立させるために寄り添い型伴走型支援を実施するパーソナル・サポート事業を普及、育成、制度化を進めることで、支援対象者が安定的に自立生活を営むことの実現につなげることを目的とする。

## パーソナルサポートセンターのめざすもの(憲法13条と憲法25条)

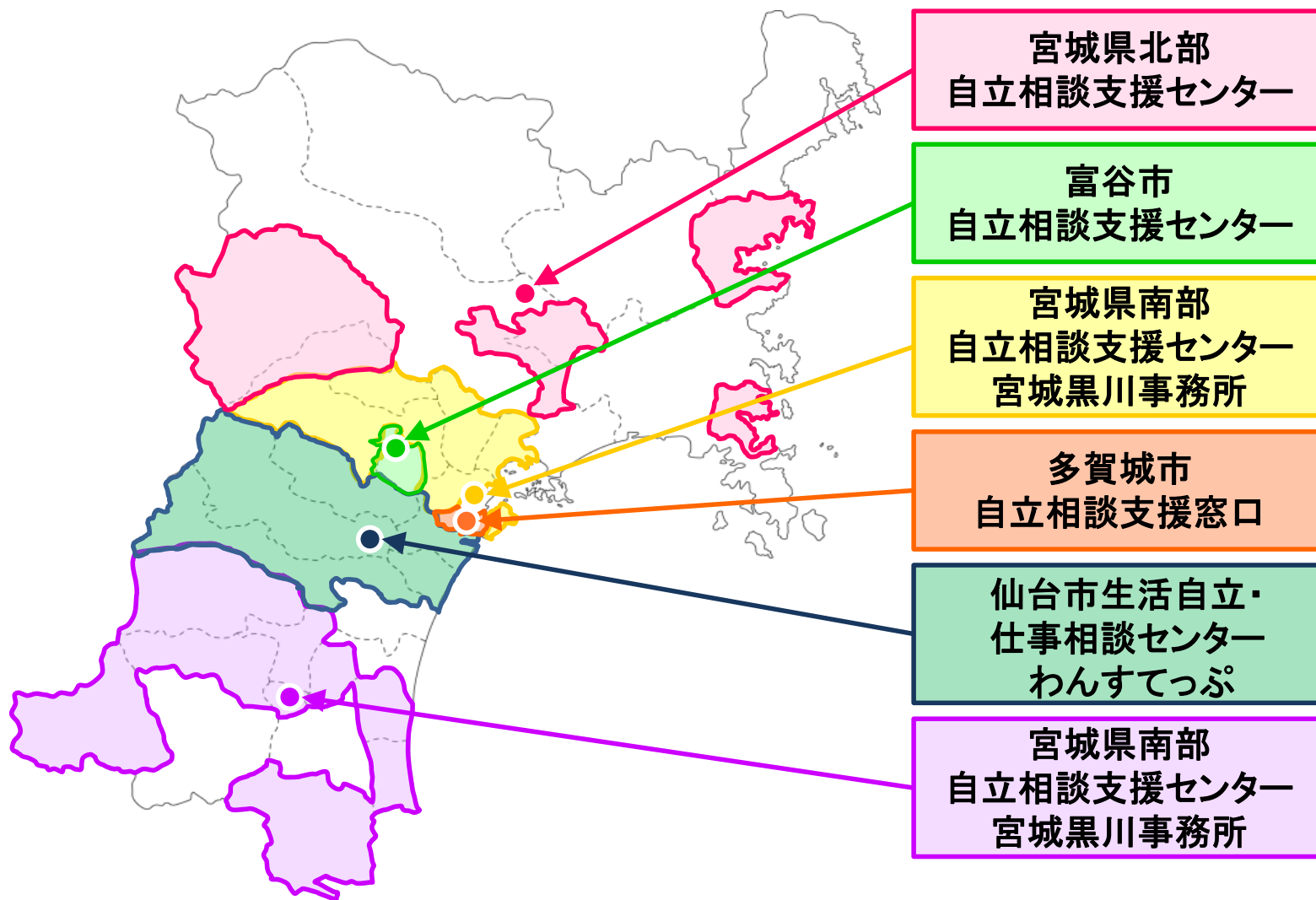
- 13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重必要とする。
- 25条 すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
2. 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

## センターの構成

- 2つの事業部(地域善隣事業部、自立相談支援事業部)と間接部門、合計64名のスタッフ
- 代表理事 新里宏二(弁護士、元日本弁護士連合会副会長)
- 連携・協力団体(\*:特定非営利活動法人)

- ①全国コミュニティライフサポートセンター\* ②せんだい・みやぎNPOセンター\* ③仙台夜まわりグループ\*
- ④チャイルドラインみやぎ\* ⑤反貧困みやぎネットワーク ⑥萌友\* ⑦POSSE\* ⑧ほっぶの森\*
- ⑨公益財団法人共生地域創造財団 ⑩MIYAGI子どもネットワーク\* ⑪ワンファミリー仙台\* ⑬アスイク
- ⑭みやぎ生活協同組合 ⑮ふうとぼんく東北AGAIN

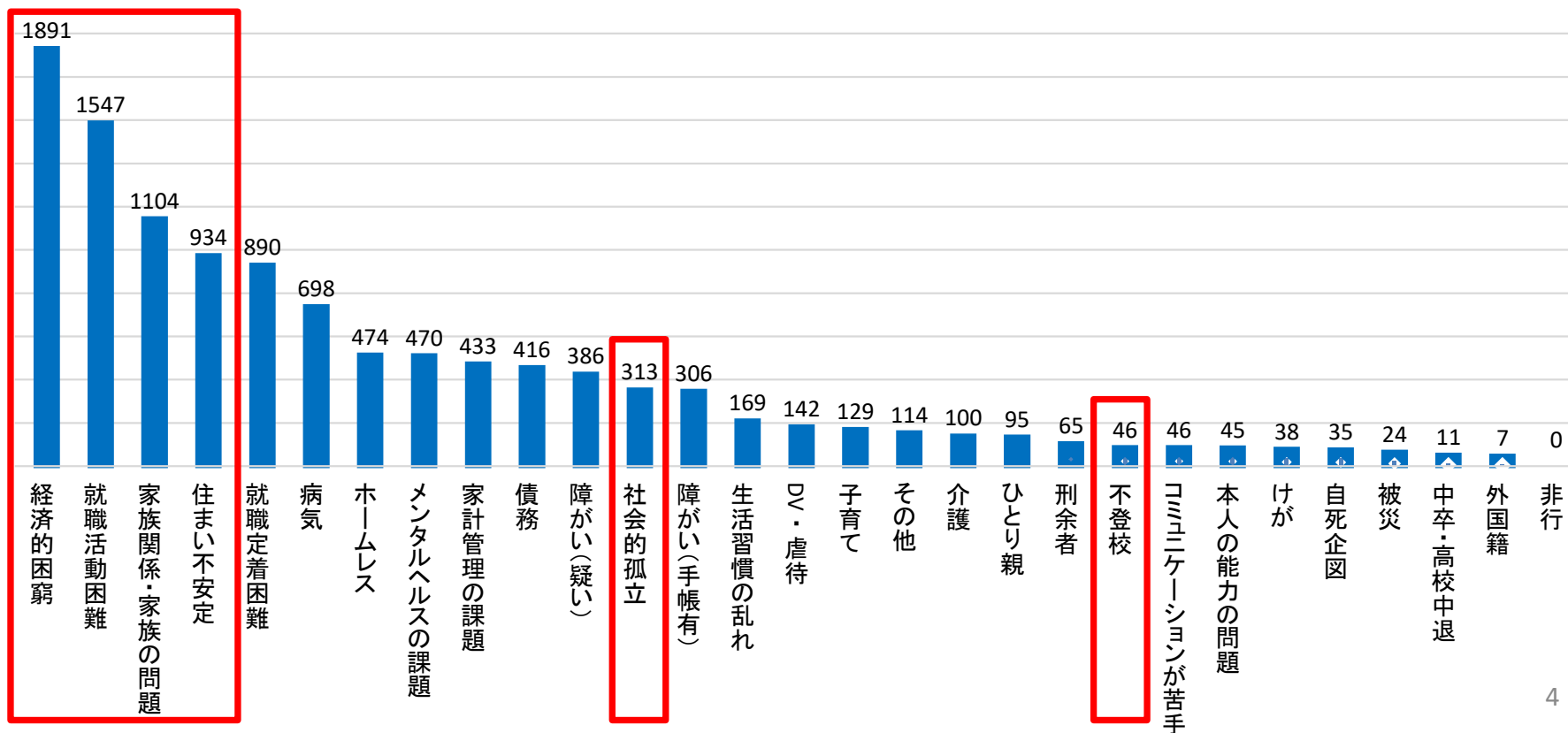
# PSCの生活困窮者自立支援事業実施エリア



宮城県全体の市町村数 35市町村のうち、PSC担当市町村は24市町村(68.5%)  
宮城県全体の人口 230万9501人(平成31年3月末現在)のうち、  
PSCは155万2733人(67.2%)のエリアの生活困窮者自立相談支援事業を担っている。

# 自立相談窓口によせられる相談内容(平成30年度)

- H30年度年間新規相談受付件数: **3,469件**(**289.1件/月**)
- 相談内容: 経済的困窮、就労困難に次ぐ3番目に多い相談が家族関係の問題
  - ①「**経済的困窮**」: 1,891件
  - ②「**就職活動困難**」: 1,547件
  - ③「**家族関係・家族の問題**」: 1,104件
  - ④「**住まいの不安定**」: 934件
- 「**社会的孤立**」313件、「**不登校**」46件の相談の中に「**ひきこもり**」に関する相談が含まれている。



# 仙台市生活困窮者自立支援におけるひきこもり支援

- **自立相談支援センターへ寄せられる相談のうち「社会的孤立」についての相談件数は313件の中に『ひきこもり』に関する相談が含まれている。**
  
- **ひきこもりに関する相談経路**
  - ひきこもりの相談経路は、家族・知人からの相談と他機関からのリファーが中心。
  - 家族や知人に促されて自ら生活困窮者支援相談窓口に繋がるケースは稀である。
  
- **常設・通所型の就労準備支援事業の活用**

いつからでも、毎日決まった場所へ通うことができる『常設・通所型』就労準備支援センターのプログラムを活用して長期的に関わりを持てる点がメリット。

  - **利用者のメリット：**
    - ・ 就労に向けた準備の場・就労体験の場・日中の通いの場・社会参加の場など多様な『場』として活用できる
    - ・ 他の利用者と長期間にわたり毎日顔を合わせることで、当事者間の交流・コミュニケーション・関係性を構築できる。
  - **支援者側のメリット：**
    - ・ 長期的な関わりにより利用者・支援者間の信頼関係を構築できる。
    - ・ 1日を通して関わる事で利用者の特性や行動パターンを把握できる。

# 就労準備支援事業のプログラム内容

施設内 プログラム	作業 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内職作業 地域の協力事業所から受注した内職作業 ➢ Tシャツのたたみ・検品作業、封入作業、箱折り等</li> </ul>
	スキルアッププ ログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PC講座： 個別カリキュラムによる自学自習型のパソコン講座。MOS検定にむけた訓練、クリスマスカードや名刺の作成なども行う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 余暇講座：人狼ゲーム、ボッチャ大会、ボードゲーム、ヨガ講座</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループワーク イベントや余暇講座について利用者が主体的に案を出し、話し合い、決定していくミーティングプログラム。</li> </ul>
施設外 プログラム	作業体験 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソーシャルファーム(農業プログラム) 自法人が運営する農場での農作業、梱包・袋詰め作業、イベント等での販売のほか、収穫祭や収穫物を使った料理教室など。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● ポスティング作業 ➢ 個人宅、マンションへのポスティング ➢ オフィス向けの冊子配布</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● マンション清掃</li> </ul>
	就労体験 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 茶楽体験プログラム：地域の介護施設内の地域交流スペースで運営するカフェ業務体験プログラム</li> </ul>
その他	<p>面談練習、履歴書・職務経歴書作成支援          企業・職場見学、企業担当者による事業所説明会  <b>ジョブカード作成支援</b>  <b>広域連携プログラム：『我が町紹介プログラム』『私たちの〇〇絵本』</b></p>	

# 就労準備支援プログラム

就労準備支援プログラムは、内職作業や農作業等の共同作業による『作業プログラム』と、就職活動や就労後の就労継続に必要なコミュニケーションやパソコン等のスキルを身につける『スキルアッププログラム』の2つのプログラムで構成している。

2019年 6月 「わんすてっぷ」就労準備支援センター プログラム予定表

R1.6.1【様式-1】

	3(月)				4(火)				5(水)				6(木)				7(金)			
	施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外	
	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②
午前	短期就活	コミュニケーション講座			・PC講座 ・短期就活	内部作業	茶楽	マンション 清掃	短期就活	内部作業	茶楽	SF	・PC講座 ・短期就活	内部作業			短期就活	内部作業	茶楽	SF
午後	短期就活	コミュニケーション講座			・PC講座 ・短期就活	内部作業	茶楽		短期就活	余暇講座	茶楽	SF	・PC講座 ・短期就活	内部作業			短期就活	内部作業	茶楽	SF
備考	茶楽は施設内電源工事により停電のため休業(代替えとして10日に実施)																			
	10(月)				11(火)				12(水)				13(木)				14(金)			
	施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外	
	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②
午前	短期就活	内部作業	茶楽		・PC講座 ・短期就活	内部作業	茶楽	マンション 清掃	短期就活	内部作業	茶楽	SF	・PC講座 ・短期就活	内部作業	茶楽		短期就活	内部作業	ポストイング (ばど)	茶楽
午後	短期就活	内部作業	茶楽		・PC講座 ・短期就活	内部作業	茶楽		ヨガ講座		茶楽	SF	・PC講座 ・短期就活	内部作業	茶楽		短期就活	内部作業	ポストイング (ばど)	茶楽
備考	6月6日分として茶楽も実施																			
	17(月)				18(火)				19(水)				20(木)				21(金)			
	施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外	
	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②
午前	短期就活	内部作業	マンション 清掃	SF	・PC講座 ・短期就活	内部作業	茶楽		短期就活	内部作業	茶楽	SF	・PC講座 ・短期就活	内部作業	茶楽		短期就活	内部作業	茶楽	SF
午後	短期就活	コミュニケーション講座		SF	・PC講座 ・短期就活	内部作業	茶楽		ヨガ講座	内部作業	茶楽	SF	・PC講座 ・短期就活	内部作業	茶楽		短期就活	内部作業	茶楽	SF
備考	東山荘見学/荒井主任対応																			
	24(月)				25(火)				26(水)				27(木)				28(金)			
	施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外		施設内		施設外	
	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②	スキルアップ	作業	①	②
午前	短期就活	内部作業	マンション 清掃	SF	・PC講座 ・短期就活	内部作業	茶楽		短期就活	内部作業	ホスティング (ルチカ)	茶楽	・PC講座 ・短期就活	内部作業	ホスティング (ルチカ)	茶楽	短期就活	内部作業	ホスティング (ばど)	茶楽
午後	短期就活	内部作業		SF	・PC講座 ・短期就活	集中就活講座	茶楽		短期就活	内部作業	ホスティング (ルチカ)	茶楽	・PC講座 ・短期就活	内部作業	ホスティング (ルチカ)	茶楽	短期就活	内部作業	ホスティング (ばど)	茶楽
備考																				
午前	※PC講座(集合AM9:30/PM13:00) AM10:00~11:50/PM13:00~14:50 (内10:00~10:30/13:00~13:30自習) ※各講座(集合PM13:00) PM13:00~15:00 ※ソーシャルファーム(集合AM9:30) AM10:00~12:00/PM13:00~15:00 ※内部作業(集合AM9:30/PM13:00) AM10:00~12:00/PM13:00~15:00												※短期就活講座は、個別対応で随時実施しています。 ・履歴書、応募書類の添削 ・面接練習 ・PCスキルチェック ・就活のための身だしなみ ・ビジネスマナー等 ※プログラムの内容は変更になることもあります。				お問い合わせ先: 一般社団法人 パーソナルサポートセンター 仙台市生活自立・仕事相談センター 「わんすてっぷ」就労準備支援センター  〒980-0802 仙台市青葉区二丁目2-1木村オアシビルF TEL:022-796-1701			
午後																				
備考																				

# 就労準備支援センター1日の流れ

9:20

集合・バイタルチェック



通所したら各々で検温と血圧測定を行います。その日の体調・気分とともに結果をミーティングの前に振り返りシートに記入します。

9:30～10:00

朝のミーティング



全員でミーティングを行います。今日の体調・気分・1日の目標を利用者の前で発表します。

10:00～12:00

午前中のプログラム



利用者の状況にあわせて組まれたカリキュラムに沿って、作業プログラムやスキルアッププログラムを進めます。

12:00～13:00

昼食・昼休み



昼食はコミュニケーションの一環として同じテーブルでいただきます。本人の状態によって個室も使用できます。昼食後は午後のプログラムまで各々ゆっくりと休みます。

13:00～15:00

午後のプログラム



午前中から継続した作業をすることもあります。午後のプログラムは生活・健康講座やヨガ講座・ボードゲームなどスキルアッププログラムが多く組まれます。

15:00～

振り返りミーティング

振り返りシート	内 部	内 部	内 部	内 部	内 部	内 部	内 部
今日の振り返り	5	3	4	休	4	5	
振り返りシート	5	3	4	休	4	5	
今日の振り返り	5	3	4	休	4	5	
振り返りシート	5	3	4	休	4	5	

1日のプログラムを終えそれぞれが振り返りを行います。朝と比べ、プログラム参加後の気分や体調の変化にも気を配ります。



# 事例-1

## 自立相談支援センターで家族の相談からひきこもり本人の支援に繋がったケース

相談者:20代男性、専門学校卒業後 就職。6ヶ月で退職後1年半 無業

母親が自立相談支援センター  
来所

相談内容:①長男のひきこもり ②本人の就労 ③実母の介護  
・長男の状況確認 ・就労準備支援プログラムの説明・本人の来所を促進

長男が自立相談支援センター  
来所

長男自身より現在の状況や心持を聞き取り。就労準備プログラムに興味を持っているため、就労準備支援センターの見学をすることにした。

支援に対する拒否感はなくこちらからの問いかけにはポツリポツリと反応するが、相互にコミュニケーションを取ることが苦手な様子。

相談支援員・就労準備支援員  
の情報共有

相談者の状況・特性、自立相談としての見立てと就労準備支援センターの見立てを共有

長男が自立相談支援センター  
来所  
就労準備支援センター見学

相談支援員同行で就労準備支援センター見学。相談支援員、就労準備支援員それぞれからプログラムの内容・日常的な過ごし方などを説明。翌週から就労準備支援プログラムに体験参加することになり、カリキュラム作成。

週2日通所、終日プログラムに参加する。意思表示・対人コミュニケーションが難しく相談者自身のニーズや困っている事が何かを掴む事が出来ていない。

就労準備支援センター  
体験利用開始

当面は週に2日通所して、作業プログラムを中心に終日参加する。

作業プログラムの様子やセンター内での他の利用者との関わり方を見て、対人スキルを細かに見ながら、特性を把握して、支援プランを作成する。

相談担当・就労準備支援担当双方の役割を明確にしてゆっくりと関わる事で関係性を構築して、相談者自身の抱える希望と課題を引き出し、短期・長期の支援プランを検討する。  
支援計画を作成して支援調整会議に諮り、就労準備支援事業の利用決定を見込む。

## 事例-2 就労準備支援プログラムを活用し就労自立につながったケース-1/2 ～自立相談支援センター来所前の状況と就労準備支援センター開始～

20代男性、中学校時代に同級生にからかわれて不登校になる。中学卒業の2年後に通信制高校進学し4年後に卒業。卒業後も無業状態で、中学時代から10年近くひきこもり状態。

- ・ 自分は何もできない、自分に自信が持てないという漠然とした不安を抱えていた。

腹痛で通院した所、医師より精神的課題について指摘され、精神保健福祉センターに相談。精神保健福祉センターから生活困窮者自立相談支援センターと就労準備支援センターの話聞いて本人が興味を示し相談窓口につながった。

- ・ 外部との関わりが極端に少なく、自身を表現することが苦手。相談当初は面談時も終始うつむいて自分から話すことは無かった。
- ・ 家族から今後のことを言われるのが苦痛。目標や意味合いを持たないで考えると、余計に混乱する。

就労準備支援センターを見学してその後体験利用を開始。就労準備支援員からパソコン講座を薦められ相談者自身も興味を持ち継続的な利用を自分の意志で決める。

- ・ 体験利用開始にあたり、スケジュールやカリキュラムは本人が自分で決める事が出来た。
- ・ 体験利用中の様子は表情が和らぎ、他者との関わりを持てるようになる。

## 事例-2 就労準備支援プログラムを活用し就労自立につながったケース-2/2 ～就労準備支援センター開始から就労決定～

就労準備支援センター通所開始後、作業プログラムで他の利用者と協力して作業を進める中で他者との積極的な関わりを持つようになる。

- ・他のセンター利用者だけではなく、支援員に対しても自分から話しかける場面が増えた。

ジョブカードを作成し自身のこれまでの歩みを振り返る。

- ・自身の人生を振り返り、自分の気持ちも整理できるようになった。

1回目の職業体験実習を実施。就労準備支援センターで身に着けた他者との関わり方を確認して自分のできているところを認めることを目標とする。

- ・もっと学びたい事があるが、自分なりに取組めた。どんな形であれこの体験を次に活かしたいとの感想を残す。事業所の担当からは、作業に慣れてきて安心して作業をお願いできる状態であったとの評価を受ける。

2回目の職業体験実習を実施。実習を通してこれからの働き方や生活上の目標を定める。

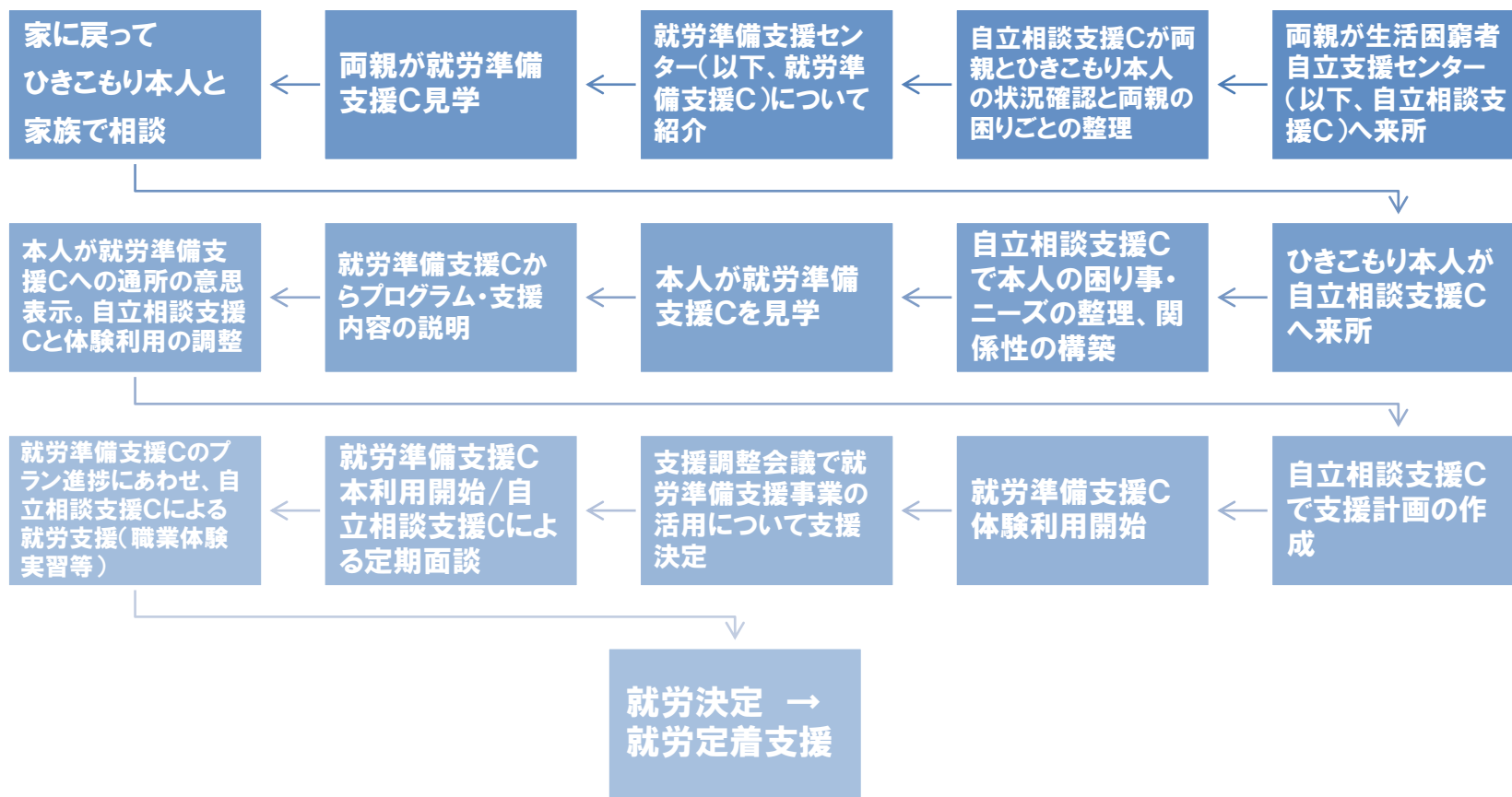
- ・実習終了後、自信では体調管理、集団としての動き方等の反省点を挙げたが、実習先の担当からは、実習を通しての成長、能力を高く評価してもらった。

2回目の実習終了後に、実習先のアルバイト面接を受け採用。

現在も就労継続中。事業所ではリーダー的役割を与えられ、なくてはならない存在となっている。

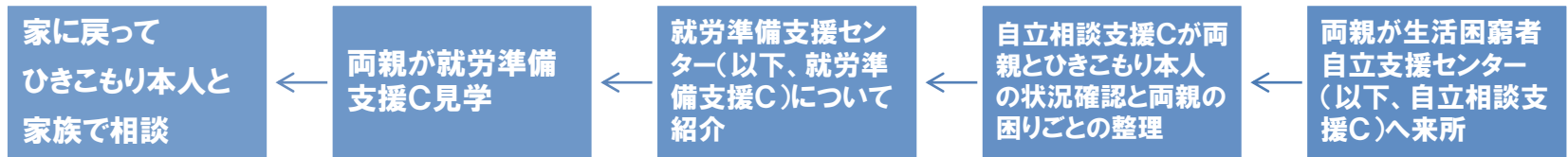
# ひきこもり支援にあたっての課題1

## 「本人と話し合ってみます」以降本人に繋がれない、アウトリーチの難しさ



# ひきこもり支援にあたっての課題1

## 「本人と話し合ってみます」以降本人に繋がれない、アウトリーチの難しさ



◆ ひきこもり本人へ直接アプローチが難しくひきこもり本人の支援に繋がらない

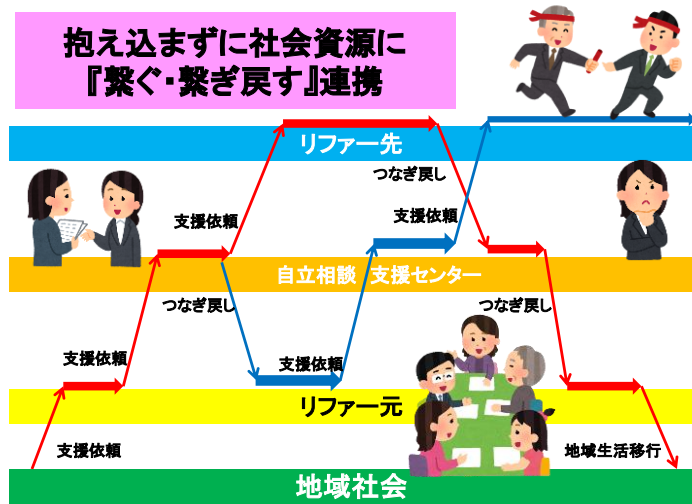
◆ アウトリーチの難しさ

- 家への訪問に対する本人・両親の拒否感
- ひきこもり本人へのアプローチの難しさ
- 本人特性や家族関係の繊細さの理解の困難さ

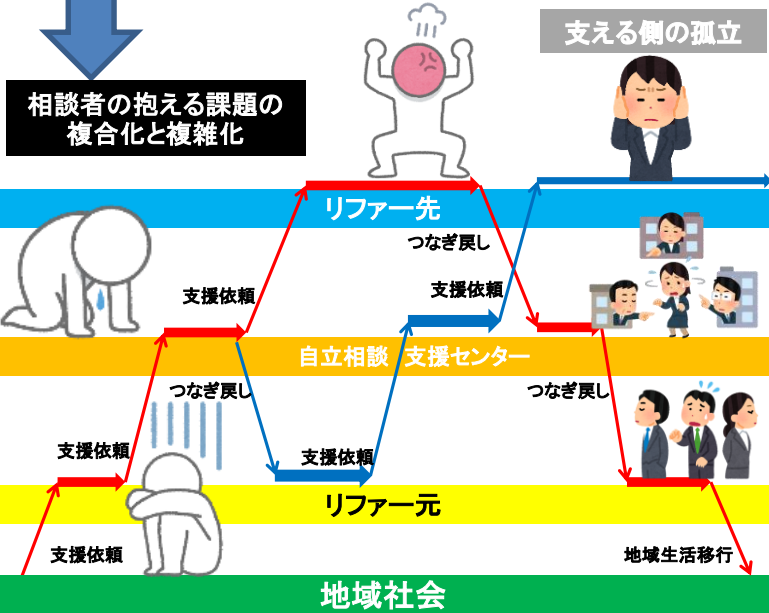
# ひきこもり支援にあたっての課題2

## 地域における関係機関、民間団体との緊密な連携等支援体制の整備

抱え込まずに社会資源に『繋ぐ・繋ぎ戻す』連携



相談者の抱える課題の複合化と複雑化  
ケースの深刻さによる支える側の負担増



制度に囚われず皆で支える地域づくり



制度や支援対象者に囚われない  
みんなで支える『お神典型』の連携

支える側の支え合い体制の構築  
支援者の孤立・疲弊を防止